

様 式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成27年度）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学

3. 研究種目名 基盤研究(C)（一般） 4. 補助事業期間 平成26年度～平成28年度

5. 課題番号

2	6	3	7	0	2	4	5
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名 地方青年結社における「文」の実践に関する社会史研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
3 0 3 9 0 5 8 7	キド ユウイチ 木戸 雄一	文学部	准教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

平成27年度は、地方青年結社の「文」に関する資料所在調査と資料収集を前年度に引き続き行った。また、収集した資料の具体的な検討を開始し、その成果の一部を発表した。

地方青年関係資料としては、(1)早稲田大学中央図書館所蔵『東洋文学』『詞海』の調査、(2)明治新聞雑誌文庫所蔵の『同楽』『文海』『黄薇余芳』『文明之児童』『をしゑ』『風流之友』『松浪草紙』『無逸』『総房』の調査、(3)八戸市立図書館所蔵『奥南青少年』『奥乃華』の調査、(4)函館市立中央図書館所蔵『函館新聞』の青年結社関係記事の調査、(5)福島県立図書館所蔵『愛蓮遺稿』の調査、(6)岡山県立図書館所蔵『白虹』『血汐』『星光』『筆戦誌』『文華』『進歩』の調査、(7)会津若松市立会津図書館所蔵菊池研介関係資料および『会津日報』掲載記事の調査、(8)『白露戦争実記』『ハガキ文学』の入手および調査を行った。

地方文学青年の動向については、『交誼之魁』と雑誌交換を行い交流のあった青年雑誌の調査を行い、地方青年の交際を前面に掲げる投稿文章雑誌について考察した。また、硯友社周辺の雑誌である『詞海』と交流があった『東洋文学』と、さらに『東洋文学』と交流があった雑誌の調査を行い、硯友社のような非政治的結社と見なされる中央の文学結社と、地方で文学および社会活動をしている青年結社との関連について考察した。また、交際に必要な基本的リテラシーである書簡の実態について調査研究を進めた。

地方文学結社の活動実態の研究としては、会津の「文学研究会」資料のうち『愛蓮遺稿』上冊の翻刻を行い、解題を付して「明治期地方文学資料の翻刻と解題(一) 福島県喜多方市「文学研究会」資料・『愛蓮遺稿』上」(『大妻女子大学紀要 文系』第48号、平成28年3月)として発表した。